

（午前10時45分 再開）

○議長（石橋英和君）休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番9、20番 樽井君。

〔20番（樽井豪男君）登壇〕

○20番（樽井豪男君）それでは、もう昼の時間も押し迫っておりますので、短く端的に、また当局のほうも説明をよろしくお願いたします。それでは、議長のお許しを得ましたので、一般質問をさせていただきます。

今回三点ということで、まず1番目、ワンコインサービス事業につきまして、これは平成26年度の介護保険制度改正に伴い、要支援1・2の軽度者について、訪問介護と通所介護の予防給付から除外の方向になると聞いております。これまで利用していた人たちへの対応は、極めて重要な課題となります。地域支援事業の再編成により対応が必要となっており、訪問介護と通所介護利用者の具体的なニーズ、またその利用によりどのように改善が図られているかを把握し、どのような提供体制を構築していくか。市の力量が問われます。

その中の一つとして、在宅高齢者に対し、軽度な日常生活の援助を行うことで、住みなれた地域で安心して暮らせるようワンコインサービス事業を行ってはどうか。

発言事項2番、橋本市運動公園の見直しにつきまして、これは同僚議員も何人も、この3年間、現市長、前の市長のときには何回かもう質問しておりますが、また具体的な案も示してきておりますが、市の財政の厳しいのはよくわかります。

私は、今回お願いするのは、市長在任中に工事着手とは言いませんが、ぜひ運動公園の見直しをしていただき、スポーツをする人たちの夢を与えていただきたいと思います。ありがとうございます。

3番目、南馬場緑地広場の再整備について。これは、昨年災害で一旦直しておりますが、今後台風の時期となるんですが、グラウンドが流されないという仮定のもとで、来年の国体に向け、野球場も含め良質土の、厚みが非常に現在薄い状態しております。恐らく5cm程度の厚みでおります。これにつきましては、災害等で非常に原課が苦労して、そういった広島産の真砂土を入れていただいたというのは、非常にありがたく思っています。ただし、あともう5cmほどあれば、非常にグラウンドとして満足な状態でありまして、再度国体に向けても非常にプレイがしやすくなると思っております。

また、その意味の上でも、グラウンドの管理上、今まで現場のほうでは、H鋼で引っ張ったりとかいろんな苦労をされておるんですけども、やはりトラクターを使って何か整備機器をつけてというようなことが必要だと思っております。そういった整備機器の充実も重ねてお願いいたします。

以上です。

○議長（石橋英和君）20番 樽井君の質問項目1、ワンコインサービス事業に関する質問に対する答弁を求めます。

健康福祉部長。

〔健康福祉部長（石橋章弘君）登壇〕

○健康福祉部長（石橋章弘君）ワンコインサービス事業についてお答えします。

次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において具体化しなければならない重要施策の一つが、介護予防・日常生活支援総合事業です。この事業の趣旨ですが、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的な支援等を可能にすることをめざすものです。

さて、在宅高齢者に対し、軽度な日常生活を援助するワンコインサービス事業については、介護予防・日常生活支援総合事業を具体化するための主要事業の一つだと考えています。

全国的には、シルバー人材センター、社会福祉協議会あるいは自治体が主となり、地域在住の有償ボランティア等を組織し、日常生活上の軽度な作業を、ワンコイン100円、500円にて地域高齢者を援助するワンコインサービス事業として取り組まれているところが多くあります。これら事業についても、いかに介護予防・日常生活支援総合事業として取り組むかを検討されているとのことでした。

本市においても、次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において、方針を具体化し、関係機関との協議を進め、介護予防・日常生活支援総合事業として事業実施できるよう努めます。

○議長（石橋英和君）20番 樽井君、再質問ありますか。

20番 樽井君。

○20番（樽井豪男君）ありがとうございます。非常に前向きなご答弁と解釈いたしております。

まず、このワンコインサービス事業につきましては、先ほど100円、500円ということで、今、私が調べました市の中で、愛知県の長久手市というところで、それは市が行っており

ます。先ほど部長が言われましたように、まずワンコイン100円というのは、作業時間10分未満ということで、朝のごみ出しとか、電球、蛍光灯の取りかえ、電池の交換、また植木とか花の水やり等が一応100円ということとなっております。また、500円の作業につきましては、庭の清掃、草取りとか、簡単な大工仕事ということで、有償ボランティアを募って行っているということで聞いております。

やはりこの役割といいますと、長久手市の場合は、60歳以上の市民の方がこういったグループを形成され、そういった在宅の方に有償ボランティアで訪問するという制度がございます。これによりまして、60歳以上の方が行って作業をするというのは、非常に元気も取り戻せるし、またそこの方とのお話し合いとか交流が進み、非常にいい状態でやっていると聞いております。この長久手市におきましては、平成25年6月1日から開始されており、今約四十数件の登録があって、また活用されておると聞いております。

市の財政につきましては、100円だろうが500円だろうが、1件について300円の補助をしていると。それと、予算計上が25年度当初予算では10万円程度ということで聞いております。今までこの12月までに支出した補助金につきましては、1万円ちょっとと。それだけまだまだPR不足であるということでは聞いております。

こういった仕組みの中で、あまりお金もかからずに、今後介護のやり方というのか市の方針の中で、いろいろ再構築すべきやということで、今の部長の答弁では、前向きな話で進んでおると聞いておるんですけども、そのあたり、再度確認をしたいと思います。

○議長（石橋英和君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（石橋章弘君）このワンコインサービス事業でございますが、現時点、私

どもが考えている枠組みでございますけれども、基本的には介護保険法が改正になった。ご質問の前段の部分でもご紹介がありました、いわゆる給付部分であった通所・訪問の介護予防給付が、地域支援事業に移っていくということで、今後は新しい介護予防・日常生活支援総合事業という中で、生活支援サービスという項目があると。こういう介護保険の枠組みの中で、まずはそういうサービスができないかということで取り組んでまいりたいということでございます。

新たに興すことでございますので、一つは事業の継続性が必要だろう。あるいはサービス水準の確保であるとか内容の充実、水準の一定化等々で、いろんな組織の方々、どんな事業者の方がやってくれるかも、これから模索していくところでございますが、やはり一定ルールの確立、あるいは研修等を実施して、継続性のある事業としていくには、まずこの介護保険法の制度の中で、一定取り組んでいきたいと、現時点で考えております。

○議長（石橋英和君）20番 樽井君。

○20番（樽井豪男君）再度副市長にお願いしたいんですけども、ご答弁いただきたいんですけども、やはり原課のほうではいろんな法律の改正の中で、いろんな案を模索してやっておると思います。まず、それはやはり今後市の政策調整会議なり、陰でこれをやっていくかどうかというのは、議論の対象になると思うんですけども、そのあたり、やはり副市長は事務屋のトップと私は思っていますので、そのあたりのご理解を示していただいて、できるだけ前向きにさせていただきたいなと思うんですけども、そのあたり、副市長、どうですか。

○議長（石橋英和君）副市長。

○副市長（森川嘉久君）ご紹介いただきましたように、長久手市の例もご紹介いただいた

わけでございますけれども、大変経費は少ない、あまり財政的には負担のかからない。それに比べて、先ほど言われましたように、いろんな面で、交流も含めまして市民相互の助け合いといいますか、そういうことの中で実施できる事業でございますので、大変すばらしい事業かなと思っております、これはぜひとも取り組んでいきたいとは考えておりますが、一番最大の難点と申しますのは、やっぱり担い手であるボランティアの組織化ということが一番問題になってくると思います。そこらで、市民の皆さまにどれだけご協力いただけるかということが、一番の最大のポイントになってくるかと思うんですけども、先ほど議員のほうからも言われましたように、今後、2025年問題もございまして、75歳以上の要介護に近くなるような高齢者の方も増えてきますけども、65歳以上のまだまだ元気な高齢者の方も増えてくるということでございまして、こういう形で、できるだけ費用のかからない形で、高齢者の方に安心して生活を送っていただける制度であるとは思っておりますので、仕組みづくりに向けて、担当課も頑張っていくということで、今考えておりますので、できるだけそういう方向で市としても進めていきたいと考えております。

○議長（石橋英和君）20番 樽井君。

○20番（樽井豪男君）ありがとうございます。

それでは、この1番を終わります。

2番にお願いいたします。

○議長（石橋英和君）次に、質問項目2、橋本市運動公園の見直しに関する質問に対する答弁を求めます。

建設部長。

〔建設部長（塙阪 隆君）登壇〕

○建設部長（塙阪 隆君）橋本市運動公園の見直しについてお答えします。

橋本市運動公園は、国庫補助事業として、

昭和53年度に基本計画を策定、昭和55年度に着手、平成3年には50mプールがオープンし、続いて子どもプール、流水プール、テニスコート、多目的グラウンド、平成11年には和歌山県立橋本体育館の施設が、それぞれ整備されました。その後、財政事情や用地買収の難航等により、野球場、エントランス広場、駐車場の一部等が未整備、0.9haの土地が未買収の状態で、平成17年度に事業を終了していません。未整備箇所は、現在駐車場等として利用しています。

厳しい財政状況の中、事業を再開いたしかねますが、未整備箇所の利活用については、課題であると認識しています。しかしながら、現時点での運動公園の見直しについては困難と考えますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

○議長（石橋英和君）20番 樽井君、再質問ありますか。

20番 樽井君。

○20番（樽井豪男君）何回も、同僚議員も含めて質問をした中で、答えの現時点というのは、毎度の決まり文句でよくわかっております。

過去、木下市長のときにも、同僚議員のほうから、サブプールまたはサッカー場、野球場、今回も16番議員からも事細かな質問をされるということで、あえてあまり長くとりませんので、一つだけ、もし今具体的に何かをやりたいということになれば、まずこの見直しをしてありきかどうかというのを、それともう一つ最後、もう一点は市長にお聞きするんですけれども、やはり何かをやりたいときには、まず見直しをかけると。また、市の技術屋なりいろんな優秀なスタッフもおりますので、そういった見直し作業に向けても、いろんな素案を、技術屋のスタッフなり教育委員会なりを交えながら、いろんな形のもの

構築されると思います。私も何年か前にはいろんな図面も描きまして、いろいろ望んだんですけれども、やはりそれも見直しありきという中で、特にまた国体に向かって、それまでに早くできたらということで質問させていただいてるんですけれども、今回の国体も来年ということになっておりますので、ちょっと長期的でも構いませんので、まず、何かの案があれば見直しに着手するような格好になるんか。そこらあたり、副市長のお考えをお聞きしたいと思います。

○議長（石橋英和君）副市長。

○副市長（森川嘉久君）何回もご質問はいただいておりますし、必要性は本当に認識しておるところでございます。ただ、先ほど議員のほうからもおっしゃられましたように、なかなかその財源問題等がございまして、なかなかそういう形で進んでいっていないというのは事実でございますけれども、長期的にというお話でございますので、それはもう必要性に関しましては、もちろん考えておるところでございます。ただ、一旦運動公園の計画をいろんな用地の面でありますとかそういう問題点で中止をいたしておりますので、その補助制度でありますとかそういうことも含めて、ちょっと検討させていただく必要があるのかなとは考えております。

○議長（石橋英和君）20番 樽井君。

○20番（樽井豪男君）それでは、最後に市長にだけお伺いいたします。

恐らく市長が就任されてから、いろんな団体から運動公園、サッカー場とか野球場とかいろんな要望が出てきておると思います。今現時点の運動公園の状況を見て、市長はこれで満足とは言わないんですけれども、やはり何とかせなあかんというお考えはあるんですか。それだけ一点だけお伺いいたします。

○議長（石橋英和君）市長。

〔市長（平木哲朗君）登壇〕

○市長（平木哲朗君）樽井議員の質問にお答えをします。

私も、ちょうど平成17年から事業は動いていないということで、その当時市会議員でしたので、その分については十分認識をしておりますし、運動公園の見直しについても、できるだけ早い時期にせなあかんとは思っています。私のところへ各種団体の皆さんも来られています。ただ、その中の話の中では、運動公園の中という話はありませんので、もっとでっかいものをつくれという話なんで、別のところに大きい施設をつくってくださいという要望は聞いております。

私自身も非常に何とかせなあかんという気持ちは、樽井議員と一緒にあります。ただ、国体が終わるまでは、なかなか今のところ手をつけることができませんし、そして陸上競技場の公認を取るために、国体が終わってから、また整備をせなあかんという、これも1億円近いお金がかかるのかなと思っています。

そういうこともありますので、ご質問の中にもありました任期中ということは、できればしたいと思います。せやけど、副市長が答えましたように、やはり補助金がどれだけ国から持ってこれるのかという研究もさせていただいた中で、これやったらいけるという結論が出るのであれば、運動公園のさらなる整備というのも考えていきたいと思っています。

野球場に関して、もし民間でつくってくれる、用地を提供せえよという話があるのであれば、事業費は全部出してくれるというのであれば、そういうこともありかなと思いますけども、全体の見直しも、今駐車場になっているところが非常に多いので、その辺も含めて、今後、ちょっと時期は明確には申し上げませんが、非常にたくさんの事業を抱えていますので、その中で精査をしながら進めて

いきたいと思っています。

○議長（石橋英和君）20番 樽井君。

○20番（樽井豪男君）どうもありがとうございます。

私は、基本的にはやはり運動公園が橋本市で総合運動公園となるような、やはりそこに集中してするというのが、一番私の望むところであります。市長の思い、非常にありがたく思っております。できるだけ早急に早く、工事までいきませんので、よろしく願いいたします。

それでは、2番を終わります。

○議長（石橋英和君）次に、質問項目3、南馬場緑地広場の再整備に関する質問に対する答弁を求めます。

教育次長。

〔教育次長（坂本安弘君）登壇〕

○教育次長（坂本安弘君）南馬場緑地広場の再整備についてのご質問にお答えします。

来年開催の紀の国わかやま国体のソフトボール会場となっている南馬場緑地広場グラウンドについては、去年の台風18号により被災しましたが、災害復旧事業として国庫補助を受け、復旧工事を行ったところです。

当グラウンドの整備については、被災したことにより使用不可となった箇所の表層部分に5cm厚となります良質土を入れ、整地復旧をしました。その後、本年5月よりグラウンドの貸し出しを再開し、全日本総合男子ソフトボール選手権大会近畿予選会などに利用していただいています。

現在、橋本市文化スポーツ振興公社が管理を行っていますが、議員ご指摘のとおり、良質土の厚みが少ないため、グラウンド状態が悪化していることは否定できません。このため、国体の開催にあわせ、整備機器の充実と全体のグラウンド整備を実施してまいります。

○議長（石橋英和君）20番 樽井君、再質問

ありますか。

20番 樽井君。

○20番（樽井豪男君）これはもうやるということで、非常にありがたく思います。

その中で、やはり非常に苦勞するのは、国体までということなので、現場がいろんな占用申請とかいろんなものが、今度は立ちはだかてきます。それとそれにあたって、いろんな国土交通省との絡みもありますので、ぜひこれはやっぱり市長のサポートをしていただかな、非常に原課としては厳しい。それでまた、渇水期にしか工事ができないということで、非常に短期間ということになりますので、非常に厳しいと思います。

それと、私は個人的にちょっとお願いしたいのは、せめて野球場のグラウンド、マウンド面について、もし今の良質土と黒土が単価的に合えば、できたら野球場内野フィールドは黒土でお願いしたいなど。

それともう一点は、グラウンドかきの機器も準備してくれるということで、各団体、私も橋本市軟式野球連盟にかかわっております。それが終われば、グラウンド整備、H鋼をどっかから持ってきて引っ張ったりしとるんですけども、そういったときに、そういった確かな団体とかでそういった機械を貸していただいて、後のグラウンド整備を行って、また倉庫になおすというのを、ぜひ検討していただきたいと思うんですけども、そこらは、多分、教育次長のほうになると思うんですけども、検討していただけますか。

○議長（石橋英和君）教育次長。

○教育次長（坂本安弘君）まず、機器の貸し出しについては、市の備品となりますので、その辺も含めて一度、文化スポーツ振興公社にはそのグラウンドの整備も含めた委託を行っておりますし、そこらとの話し合いも含めて検討をさせていただきたいと思います。

それから、黒土のお話でございますけれども、去年の災害でも、国体の会場、グラウンドだけではなしに、一部軟式野球のグラウンドのほうの土も入れかえをさせていただきました。軟式野球のグラウンドの土の入れかえにつきましては、ファウルグラウンドを含めて50m四方で整備をさせていただいております、そういう同じ形でやりますと、国体のソフトボールのグラウンドと一部重なることとなります。その辺も含めて、単価の問題ももちろんございますし、金の問題とどこまで整備という部分も含めて、検討をさせていただきたいと思います。

○議長（石橋英和君）20番 樽井君。

○20番（樽井豪男君）よろしくお願ひいたします。

これで、私の質問を終わらせていただきます。

○議長（石橋英和君）20番 樽井君の一般質問は終わりました。